

「公共建築の日」「公共建築月間」連動企画

# 平成29年度公共建築研究会



公共建築を巡る 3.5 時間 4 講座  
聴講無料

どなたさまも聴講いただけます。  
お申込み先着順(定員 200 名)。

# 未来に遺す公共建築

歴史的建築物の保存・再生・活用

## 11.17(金) 13:30

東京消防庁スクワール麹町

JR 中央線 四ツ谷駅 徒歩 1 分・東京メトロ丸の内線 四ツ谷駅 徒歩 3 分・  
東京メトロ南北線 四ツ谷駅 徒歩 1 分

主催：(一社)公共建築協会 後援：国土交通省 ※予定  
建築 CPD 運営会議一般認定講習会プログラム ※予定

講座 1 Start time 13:35

### 歴史的建造物の保存・活用のいま

東京工業大学名誉教授

藤岡 洋保

講座 2 Start time 14:25

### 富岡製糸場の保存活用とまちづくり

富岡市経済建設部都市計画課長 小島 康弘  
富岡市経済建設部建築課長 藤井 健太郎

講座 3 Start time 15:25

### 文化財建造物(非木造)の保存修理

(公財)文化財建造物保存技術協会  
事業部設計室設計課長

小林 裕幸

講座 4 Start time 16:10

### 世界文化遺産「国立西洋美術館」

国土交通省大臣官房官庁営繕部  
設備・環境課 統括工事検査官

柳 沼 茂

講師敬称略。演題は仮題です。

機関誌「公共建築」  
執筆者による  
プレゼンテーションを  
お楽しみください。



- 以下は記事からの抜粋です -

● - 前略 - 私は「いい建築」というのは、時代を超えて多様な問いに応じてさまざまな答えを用意してくれる建築だと考えている。

「保存」はノスタルジックな行為に見られがちだが、実は「新たな文化価値の創造」という現代的な契機に支えられている。それは過去を再解釈することを通してよりよい未来を築こうとする行為であり、それゆえに「残すことはつくること」になるのである。 - 後略 -

**藤岡 洋保** 「残すことはつくること 歴史的建造物の保存・活用のいま」

● - 前略 - ところが、現行法に適用させようとする、外壁や軒裏の防火構造や内装の不燃化などが必要となり、改修により歴史的価値を失う恐れがある。一方、法に適合させ、かつ歴史的価値を失わないように改修しようすると多額の費用と時間を要することになる。大抵の建築主は、このジレンマに悩んだ結果、①改修をあきらめる、②歴史的価値を失う改修をする、③役所に内緒で（違法に）改修する、のいずれかを選択することになるのだが、歴史的建築物を活用したまちづくりを進めるにあたっては、どれを選択しても好ましくない。このような背景から、市では歴史的建築物について、法を適用しない方策を探ることになった。 - 後略 -

**小島 康弘・藤井 健太郎** 「富岡製糸場の保存活用とまちづくり」

● - 前略 - 非木造や複合施設からなる文化財建造物の修理に際しては、着手前に「保存活用計画」を策定し、文化財的価値と維持管理・活用方針を定め、「調査工事」により劣化状況調査、補修方法検討、耐震診断と補強方針を作成し、修理計画に入る。修理設計は基本的には現状修理とし、工事中の調査を経て修理内容の最終形が決まり、復原の内容も決まる。つまり、工事中に大きな計画変更が必ず実施される。これはオリジナルの仕様を最大限後世に継承するために必要となり、文化財修理の最大の特徴である。 - 後略 -

**小林 裕幸** 「文化財建造物（非木造）の保存修理」

● - 前略 - ここで開発された新技術は枚挙にいとまがありません。このような免震レトロフィット技術の実現は、実施担当者（建設省担当職員はじめ設計・施工関係者）の技術力の集結で達成できました。結果、免震装置設置以降、コルビュジェのオリジナルデザインを脅かさないものになっています。 - 後略 -

**柳沼 茂** 「世界文化遺産『国立西洋美術館』」

当日会場では…

- \* 要約筆記、手話通訳の配置がございます。
- \* 介助を必要とされる方は事前に主催者までお知らせください。
- \* Wi-Fi がご利用いただけます。

平成29年度公共建築研究会

# 未来に遺す公共建築

歴史的建築物の保存・再生・活用

日時 11/17(金) 13:30～17:00

会場 東京消防庁スクワール麹町 3F 錦華  
〒102-0083 東京都千代田区麹町 6丁目 6番



## 参加申込み方法

下記に必要事項をご記入のうえ、記載のファックス番号にお送りいただくか、当協会ホームページ <http://www.pbaweb.jp/> 掲載のフォームからお申し込みください。お申込み締切り 11/10(金)  
ただし、定員(先着 200名)になり次第締め切らせていただきます。

FAX 03-3523-1827

(一社)公共建築協会 事業企画部 行

代表者氏名 (ふりがな)

勤務先・所属部門/大学・学校名・学部・学年 等

上記所在地

Tel / Email

代表者以外の参加者氏名

お知らせいただく個人情報は(一社)公共建築協会が適正に管理し、本催事の運営管理の目的以外には利用しません。